事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦	略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	事業群①: 県民生活部県民協働課 事業群②: 企画振興部地域づくり推進課
施策	名	(3) 多様な主体が支えあう地域づくりの推進	課(室)長名	事業群①:松尾 和子、事業群②:村山 弘司
事業	 夕	① 多様な主体が地域課題の解決を担う社会づくり	事業群関係課(室)	生活衛生課
一 一 未	群名	② 地域を支える拠点づくり		

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)

- ①県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業などの多様な主体による協働を推進するとともに、県民ボランティア活動支援センターを中核拠点とし、関係団体とも連携しながら、NPO・ボランティア活動を促進する各種支援を行い、ともに支えあう地域づくりを推進します。
- ②地域(集落)の維持が難しい状況にあるなか、住民がそのまま住み続けられるように、「集落生活圏」の維持・活性化の取組を支援し、市町が進める「小さな拠点」づくりを後押します。

(取組項目)

- i) NPO・ボランティア活動に関する情報発信、人材育成、相談機能等の充実(事業群①)
- ii) 多様な主体による連携、協働に向けた情報·意見交換の場の充実や活動基盤の強化(事業群①)
- |iii)地域の主体的な取組や地域貢献に取り組む市町等への支援を実施(事業群②)
- iv)地域を引っ張る人材を育成するため集落再生塾の開講(事業群②)

	指 標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	
		目標値①		22法人以上	22法人以上	22法人以上	22法人以上	22法人以上	22法人以上 (H32)
	①NPO法人の新規設立数	実績値②	24法人 (H26)	32法人	21法人				進捗状況
事業		2/1		100%	95%				遅れ
群	指 標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	
		目標値①		5件	9件	12件	16件	21件	21件 (H32)
	②新たに集落維持・活性化に取り組んだ件数(累計)	実績値②	_	6件	11件				進捗状況
		2/1		120%	122%				順調

(進捗状況の分析)

①人口減少や超高齢社会の急速な進展によって、NPO法人等の活動の担い手確保が難しくなってきており、NPO法人の新規設立数も近年横ばい傾向に推移していた。そのような中、平成29年度は、毎月の県民ボランティア活動支援センターや県内5地区での設立等個別相談会を新たに実施したほか、管理運営説明会の開催、設立等の相談への問合わせにも適切、迅速に対応した。しかしながら、近年、個々の活動や組織運営等に見合った体制を重視するなど、NPO法人格の取得にこだわらない団体もあり、設立数がわずかに目標値に及ばない結果となった。

②平成27年度から集落維持・活性化対策として、小さな楽園プロジェクトを推進し、これまでモデル地域である5市町(7地域)において、廃校舎の利活用や買い物支援など、地域や集落の維持・活性化に向けた取組を支援した。また、各種媒体を活用した周知や研修会による「小さな拠点」づくりの普及啓発やアドバイザー派遣による支援等を通じ、市町単独の取組も促すことにより、目標を上回る実績となった。

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

		事務事業名		事業	事業費(単位:千円)		事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)						+	
事	東 取組 項目		事業	H28実績			事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)		主な目標	H28目標	H28実績	達成率	29年度事業の成果等	中核車	
番	引 項目		期間	H29実績	うち 一般財源	人件費 (参考)			指標		H29目標	H29実績	Æ##		事業	
		所管課(室)名		H30計画							H30目標				~	
		特定非営利活動促進 法施行等事務		4.125	4.125	14,476	NPO法人・ ボランティ	NPO法人の設立認証・認定等の手続き支援や管理運営説明会の開催をはじめ、NPO法の改正に伴う手引書の作成・配付を行い、法人の設立や円滑な運営等の支援を行った。		管理運営説明会の開 催回数(回)	2	3	150%			
				4,120	4,123				指標		2	2		説明会の開催や適切、迅速な助言・指 ・導等を行うことにより、NPO法に基づく 法人の円滑な管理運営についての支援 をはじめ、NPO法人活動の透明性の確 保や信頼性の向上、NPO法人の円滑 な設立などに寄与した。		
١.	取組			0.050	0.050	13,678					2					
'	垻日 i		H12-	3,850	3,850					事業報告書等提出率	95	97				
							1				95	95				
			1		4,493	4,493	13,593			161785	(70)	95				

		1 00 - 12 (0 44)					新たな活動	 新たな活動や取組の拡大に意欲のあるNPO法	活動 指標	派遣NPO法人数(団体)	3	3	100%	NPO法人3団体に対して、中間支援組織による組織診断、組織診断の結果を
2		中間支援組織によるN PO組織力強化事業費	H29-32	942	942	3.218	NPO法人	人を対象に、実践的な経験や知見を持つ中間支援組織(NPOを支援するNPO)による組織診断			3			踏まえた組織課題の抽出及び改善計
			02			-,	0,2,7	や取組における課題解決に向けた改善計画策定	成果指標	設定したNPO法人の				画の策定、改善計画に沿った目標達成 のための助言・指導などの支援を行
				1,301	1,301	3,198		等の支援を行った。		組織課題の解決割合 (%)	80	86	107%	い、組織課題の解決に寄与した。
		県民協働課									80		,,,,,,	
				10,824	5,412	804				サマーボランティアキャンペーン受入施	300	328 356	109%	 サマーボランティアキャンペーンでは目
	取組	ボランティア振興事業					(社福)長崎	NPO・ボランティア活動の参加促進や担い手づく	指標	設·団体数(施設·団体)	300	300	116%	標を超える受入施設(団体)数や参加者
3	項目	費	H3-	10,824	5,412	805	県社会福 祉協議会	りを推進するため、県社会福祉協議会が行う傾聴 ボランティア養成講座やボランティア体験事業等			3.000	3.054	101%	数が得られたほか、傾聴ボランティア養 成講座など、NPO・ボランティア活動へ
	'						加励战器	に対して支援を行った。	成果指標	は ない 一 フ 多 加 名 数 (人)	3.000	3.528	117%	の県民の参加促進及び担い手の育成に寄与した。
		県民協働課		10,824	5,412	800			相保		3,000			
							FUL 75 5#		活動 指標		200	195	97%	
4		不幸な犬や猫を減らす 協働プロジェクト	H29-31	3.997	3.997	2.413		犬猫の殺処分数の半減を目指し、ボランティア団体と協力した地域猫活動により離乳前子猫の収		(20)	200			地域の実情に応じた動物愛護対策を推 進することで、犬猫の保健所引取り頭
7		DD 1202 1 12 - 21	1129 31	3,337	3,337	2,410	ランティア、 県民	7、容数削減と、収容された犬猫の譲渡活動の推進 に取り組んだ。 成男指制	成果指標	犬猫の殺処分数(頭)				数の削減並びに譲渡頭数の増加に寄 与した。
			_	3.268	3.268	2.398					3,642	3,028	116%	
		生活衛生課		-,	3,211	_,					2,914			
				17,138	17,138	6,434		多様化する県民ニーズや地域課題にきめ細かに	活動指標	事業報告会の開催回 数(回)	1	1	100%	
					9,607 9,607 5,632 NPO法人・ ポランティ						1	1	100%	
			(H29 終了)			対応するため、NPO法人等からの企画提案をも とに、NPO法人等と県とが協働し、互いに持って		H28:実施協働事業の				平成29年度に継続した5事業に対する 振返り会議や実績報告会を通じて、専		
5				9,607		ボランティ	- いる女別(形力で機能等)を冶かしなから地域味 ナイ 類の報法に取り組入だ		中間評価において、及第点を超えた事業	100	100	100%	門家によるコーディネート等を行い、よ	
			H25-29				ア団体	また、その間、NPO法人等と県との取組を円滑に 進めるため、コーディネーターの派遣や振返り会 議を開催した。	成果 指標	の割合(%)				りよい成果が得られ、協働の推進に寄
										H29:協働終了後も事	80	100	125%	
		県民協働課								業継続する意向のプロジェクトの割合(%)				
		がたる問題									15	24	160%	
	取組 項目			657	657	5,629		NPOと行政や企業等との連携・協働を推進する	活動指標	相談等受理件数(件)	15	21	140%	 協働サポートデスクにおいて、協働に関
	坦 ji	協働サポートデスク事 業		740	740		NPO法人・ ボランティ	ため、協働に関する事業企画提案の受付や相	1H 198		15			する相談や事業企画提案を受け付け、
6		*	H28-30	716	716	4,023	ア団体、市町、企業	談・助言、情報・意見交換会の開催や事業化に向けた専門家によるコーディネート等を行う窓口を		今後の連携、協働に	5	6	120%	NPOと行政・企業等との情報・意見交換会などを実施し、協働の事業化を支
				851	851	5.597	叫、正未	設置・運営した。	成果 指標	向けて情報・意見交 換まで進展した事案	5	5	100%	接した。
		県民協働課		001	031	3,337				件数(件)	5			
				520	520	4,825			活動	情報交換会開催回数	2	2	100%	
		NPOと企業とのパート	(1100				NPO法人・	NDO L 公坐しの 本体 + カ科ナザ サーフナ は 三軸	指標		2	2	100%	NPOと企業等を対象としたパートナーシップ交流会を県内2ヶ所(長崎市、佐世保市)で開催し、NPOと企業との連携・協働の推進に寄与した。
7		ナーシップ支援事業	(H29 終了)	196	196	4,023	ボランティ ア団体、企	NPOと企業との連携・協働を推進するため、講演、取組事例の紹介、パネルディスカッション、情			22	100	1077	
			H27-29				業	報交換会を開催した。		今後連携・協働を行 いたいと考えた情報	80	100	125% 125%	
		県民協働課									80	100	120%	
		不以 励 倒 环		/	<u>/</u>	/								

8	取組 項目 ii	多様な主体による協働 推進事業費	(H30 新規) H30-31				ボランティ ア団体、企	県民との連携・協働体制の強化・推進を図るために「つながるフェスタin県庁」を開催するとともに、協働サポートデスク等を活用し、多様な主体による協働創出をサポートする。		庁の開催回数(回)				-	
		県民協働課	4	2,763	2,763	7,996			指標	ラながるフェスダIn県 庁への参加者の満足 度(%)	70				
				22,387	11,194				活動	H28:リーダー育成の ための集落再生塾開 催回数(回)	1	1		小さな楽園づくり交付金による支援を通じて、廃校舎の利活用や空き家を活用	
	取組	小さな楽園プロジェクト	H27-31				│市町、地域 △協議会等、	自発的に生活サービス支援及び活性化策に一体 的に取り組み、持続的な仕組みづくりを行う地域	指標	H29,H30:人材研修	5	13		したゲストハウスなど賑わいの場づく り、買い物支援、高齢者の見守りなどの	
9	項目 iii	小さな楽園プロジェクト 費		H27-31	H27-31	H27-31	H27-31	NPO法 に対して、市町を通じて支援を	に対して、市町を通じて支援を行った。		(集落再生塾等)(回)	5			活動が行われ、集落の維持・活性化の (
	iv			33,331	20,000	9,000		併せて、「小さな拠点」づくりの普及啓発やアドバイザーの派遣等の支援を行った。		新たに集落維持・活	5	6	120%	推進に寄与した。 また、「小さな拠点」づくりの普及啓発や	
				42.014	21 507	0.505			成果指標	材だに来洛維持・冶 性化に取り組んだ件 数(累計)	9	11	122%	アドバイザー派遣による支援等を通じ て、市町の取組を促した。	
	地域つ	地域づくり推進課		43,014 21,507 9,595					数(累計)	12			C. TIMI VAKALE MCO/Co		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i)NPO・ボランティア活動に関する情報発信、人材育成、相談機能等の充実

NPO・ボランティア団体に対しては、県民ボランティア活動支援センターをはじめとした相談受付や各種講座等により、人材育成を中心とした支援を実施してきたが、それぞれの団体が抱える問題や課題が組織や資金、情報発信など多岐に及んでいる現状にある。そのため、NPO・ボランティア団体を含む関係団体が情報・意見交換を行う機会を確保するとともに、県内のNPO・ボランティア情報のポータルサイト「ながさきボラんぽネット」の利用者数や県民ボランティア活動支援センターによるメールマガジンの配信者数の拡大を目指す。また、NPO法人が抱える様々な組織課題を専門のコーディネーターにより解決し、組織力強化を図るとともに、新しく指定管理者が交代した県民ボランティア活動支援センターにおいても、引き続き、適切な対応を行う。

地域猫活動や譲渡活動のさらなる促進を目的として、ボランティア登録制度の整備及びその後の活動内容拡充を行い、離乳前子猫に由来する引取り頭数の削減並びに譲渡頭数の増加を目指す。

|ii)多様な主体による連携、協働に向けた情報・意見交換の場の充実や活動基盤の強化

NPOと県との協働については、平成25年度から平成29年度まで「NPOと県がともに働くプロジェクト」を実施したことで一定の効果やノウハウを得たが、その取組が拡大・浸透するまでには至っていない。多様な主体が 協働し地域課題の解決に取り組むため、協働サポートデスクによる情報提供や意見交換会等の実施に加え、つながるフェスタin県庁の開催等により、引き続きNPOと行政・企業などとの連携・協働の取組を支援して いくとともに、県職員の協働に対する意識向上を図る。

iii)地域の主体的な取組や地域貢献に取り組む市町等への支援を実施

「小さな拠点」づくりを進めていく上で、組織の立上げや自立に不可欠な担い手人材の不足、地域住民が主体的に取り組み自立・継続性のある取組の仕組みづくりといった課題がある。

自立・継続性のある取組にしていくためには、地域で収益を確保していく視点も重要であり、特産品の商品化など自主財源確保に向けたアドバイザー派遣による支援に加え、地域に必要となる草刈りや道路の維持、公 共施設の管理など行政事務の代行等により運営費を確保している各種事例や支援制度などの市町等に対する情報提供にも努めていきたい。

「小さな拠点」づくりの必要性や考え方、小さな楽園プロジェクトの取組も含めて浸透させていくために、県政出前講座などを通じた普及啓発に努めるとともに、NPO等の既存の集落維持等に取り組んでいる団体や県内のまちづくり・地域活性化団体等から構成される長崎県地域づくりネットワーク協議会とも連携して、地域づくりや地域課題の解決、集落維持・活性化に取り組んでいく団体(組織)の形成を促進していく。 「小さな拠点」づくりを全県下に展開していくために、まず小さな楽園プロジェクトのモデル地域で得た課題や、その解決策をわかりやすく市町やまちづくり団体などに周知することに加えて、担い手団体の掘り起こしと市町の実情に合わせた「小さな拠点」づくりの進め方を検討していく。

iv) 地域を引っ張る人材を育成するため集落再生塾の開講

小さな楽園プロジェクトのモデル地域の取組が自立性・継続性のある取組として、「小さな拠点」づくりの成功事例を創り出していくために、「小さな拠点」づくりの先進地域との意見交換やモデル地域の各実施団体間の 活動報告及び今後の展開について情報共有を図るための集落再生塾を引き続き開催していく。

さらなる地域運営組織の形成に向け、より地域住民に近い存在である市町行政職員に対するファシリテーション研修や、専門家等(アドバイザー)や小さな楽園事業実践者による手法の伝授など、地域に必要な人材の 派遣や取組のヒントとなるような勉強会等(集落再生塾)の開催等による担い手人材の研修・育成のサポートへの支援を行っていく。

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業	取組項目	the star the sile. At	30年度事業の実施にあたり見直した内容		31年度事業の実施に向けた方向性	
番号	項目	事務事業名	(H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しがない場合は「一」と記載) 本衆		見直しの方向	見直し区分
1			NPO法人の新規設立や定款変更等の個別相談会を県内9ヶ 所で実施する。	2	県民協働課と県民ボランティア活動支援センターとのさらなる連携を図ることで、NPO法人に関する申請等の相談について、相談者の利便性向上と、より多くの相談機会を提供し、NPO法人の新規設立と適正な管理運営の促進を図る。	改善
2	取組		中間支援組織や支援員のネットワーク形成に向けて、県内の中間支援を行う者の本事業への参加を促し、育成を図る。		組織運営に関する悩みを持つNPO法人を対象に、NPOの運営や活動に専門的な知見・ノウハウを持つ中間支援組織から支援員を派遣して、組織診断や課題解決に向けた伴走型支援を行うことで、法人の組織基盤を強化し、新規事業や取組拡大等のステップアップにつなげていくとともに、県内の中間支援組織や支援員のネットワークを形成する。	改善
3	i	ボランティア振興事業 费	サマーボランティアキャンペーンについて、幅広い年齢層の参加を促進するため、テレビやラジオ、広報誌などのマスメディアを活用したPR活動を行う。	<u></u>	県民のNPO・ボランティア活動への幅広い参加を促し、効果的な人材育成を進めるため、学校、教育機関等との連携を図りながら、ボランティア体験事業を実施するとともに、アンケート結果や第三者評価委員会の意見等を踏まえ、幅広い年齢層の参加者増加にもつながるよう講座内容、周知方法等の見直しを図っていく。	改善
4		不幸な犬や猫を減らす 協働プロジェクト	譲渡の促進・地域猫活動の普及及び啓発活動において、ボランティアとの協働が重要であるため、登録制度を創設することとした。	2	登録ボランティアによる一時的な預かり飼育や子猫への授乳などの協力を得て譲渡促進へ繋げるとともに、既に地域猫活動に取り組むボランティアと協働し、地域猫活動の普及を進めていく。	改善
6	取組	協働サホートナスク 事 業	県内11ヶ所で実施する事業説明会など各種会議でのPRに加え、「ながさきボラんぽネット」や県のホームページ等を利用した事業のさらなる周知を図る。		NPOや企業、行政等に対する協働の働きかけを積極的に行い、協働サポートデスクを活用した新たな連携・協働の取組を更に推進していく。	改善
8	ii	多様な主体による協働 推進事業費	H30新規	_	「つながるフェスタin県庁」の開催により、NPO、企業、行政などの多様な主体同士のつながりをつくるとともに、参加者の取組拡大・スキルアップを支援していく。	現状維持
9	取組 項目 iii iv	小さな楽園プロジェクト	県が小さな楽園づくり交付金により支援しているモデル地域の 取組を波及させるために、小さな楽園事業実践者による手法 の伝授や集落再生塾の開催に係る経費の支援など、「小さな 拠点」づくりの普及啓発やモデル事業の横展開に係る予算を 充実した。	<u> </u>	「小さな拠点」づくりの全県下展開に向けて、他部局との連携・協働化を進め、担い手人材の育成や市町行政職員向けの研修など人材育成面を強化することで、市町と地域住民が主体となった計画づくりや組織づくりを促していき、ネットワークの構築も図りながら集落維持対策に向けた動きを加速化させる。	改善

注:「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量 の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対 象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
 ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
 ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
 ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
 ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 ⑦ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 ⑦ 視点⑥ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
 ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
 ① その他の視点